

本日の説明の概要



1. 川崎市文化芸術振興計画の改定について

市民・こども局市民文化室

①文化芸術振興計画の改定

川崎市では、文化芸術に関する基本計画の第2期計画の策定作業をしています。

この「川崎市文化芸術振興計画」の第2期計画は、今後概ね10年間の川崎市による文化芸術施策を方向付けるものです

②文化芸術振興の役割・効果

文化芸術は、経済や地域の活性化につながるなど、川崎市を元気にする原動力です。



文化芸術振興を推進することの効果

- 1 人の心を癒し豊かにする
- 2 人への思いやりを育み、コミュニケーションを良くする
- 3 地域への愛着が高まる
- 4 都市の国際化が図れる
- 5 都市のイメージが向上する
- 6 経済の活性化に寄与する
- 7 産業や福祉など様々な分野に波及し相乗効果が生まれる

③今回の説明の主旨

川崎市には、川崎市総合文化団体連絡会の皆さんをはじめとして、たくさんの方々が文化活動を行っており、そのことが川崎市の文化を支えています。

【様々な文化活動の主体】

- ・川崎市総合文化団体連絡会
- ・川崎市民俗芸能協会
- ・文化NPO
- ・大学
- ・企業
- ・商店街
- ・観光協会など

文化芸術振興計画の第2期計画をより良い形で策定するために、文化団体で活動されている方など、たくさんの方からご意見をいただきたいと考えています。

2. 皆さんからお願いしたい意見について

行政が考える文化芸術振興計画第1期計画中的の成果

- ①川崎市のイメージの向上
- ②地域の賑わいの創出
- ③企業・文化団体との連携の推進
- ④市民主体の文化活動の充実
- ⑤川崎市及び地域の魅力の発信
- ⑥情報共有とネットワークの構築
- ⑨ボランティア育成と活躍の機会の提供

行政が考える文化芸術振興計画第1期計画中的の課題

- B 文化団体や市民、伝統芸能等の保存活動などと行政の役割分担など
- D 地域の文化資源を踏まえた文化芸術振興施策の方向性
- F 音楽等の芸術家や住民ボランティアのネットワーク化の推進
- G 文化活動を行いたい市民と、地域の文化活動ができる場所や活動団体等の情報を結びつけるマッチング機能の充実
- H 人材育成事業の参加者が、事業の担い手となっていくような好循環の仕組みづくり
- I 市民ボランティアの一層の充実と参加機会の拡大

成果と課題を踏まえた第2期計画の方向性

【市民・文化関係団体・企業との連携の推進】

【文化芸術資源および地域特性を踏まえた文化芸術振興の推進】

【継続的な人材育成の推進及び活躍の場の提供】



文化活動をされている皆さんの感じている成果・課題などお聞かせください。

○団体として達成してきた成果
○日頃、市の中で実感する成果など

○団体として感じている課題
○第2期計画での対応を検討してほしい課題など

○団体として必要性を感じる方向性
○第2期計画での対応を検討してほしい方向性など

Yellow box for inputting achievements and results.

Yellow box for inputting challenges and issues.

Yellow box for inputting directions and future plans.

市民の文化・芸術活動の振興 ～川崎市文化芸術振興計画の第2期計画策定について～

文化芸術振興計画とは

川崎市文化芸術振興計画は、文化・芸術の多様性を踏まえ、文化芸術の振興を通じて魅力と風格のあるまちづくりを進めるために策定したもので、「川崎市文化芸術振興条例」に位置付けている本市における文化芸術振興施策の実行計画となるものであり、2008(平成20)年度～2013(平成25)年度の6年間を計画期間としています。

1 第1期計画の概要

基本方針

- 1 文化芸術振興による創造的で持続的なまちづくりの推進
- 2 市民の主体的な文化芸術活動の尊重
- 3 関係機関等との連携による文化芸術の振興と地域づくり
- 4 文化芸術活動を通じた都市・地域間の文化交流の推進

計画体系

基本目標

文化創造

・文化芸術が様々な分野に浸透し、魅力ある創造性豊かなまち

情報の共有

・多様な文化芸術の情報を共有し、活気にあふれたまち

人材育成

・多才な人材が育ち、文化芸術活動を担う人、支える人が集うまち

環境整備

1. 文化芸術の振興を通じた都市の一体的発展

2. 文化資源の整備と情報の共有化に向けた体制づくり

3. 人材育成・支援を中心とした制度や新たなアワードなどの検討

4. 文化施設の適切な管理・運営の実施

基本目標への11の視点

- ① 文化芸術活動を行う機会や場の提供
- ② 文化芸術活動を通じた産業・商業の振興
- ③ 生活現場や地域活動への文化芸術の活用
- ④ 文化芸術を意識した都市環境の形成
- ⑤ 文化芸術の向上をめざした活動
- ⑥ 地域文化芸術情報の収集と発信
- ⑦ 多様な文化交流による文化資源の蓄積
- ⑧ 市民の参加による文化芸術の振興
- ⑨ 文化芸術活動を担い、支える人の発掘・育成・支援
- ⑩ 文化芸術に触れる機会の設定
- ⑪ 文化芸術の振興にかかわる企業・団体等との連携協働

施策分野と主な事業計画

- 1 文化振興
- 2 文化交流
- 3 文化と教育・青少年
- 4 文化と福祉・医療
- 5 文化と観光
- 6 文化と経済
- 7 文化と環境・景観

推進体制

- (1) 庁内組織体制の整備
- (2) 川崎市文化芸術振興会議
- (3) 川崎市文化財団及び文化関係団体、企業等との連携協働
- (4) 市民の参加と協働

2 第2期計画策定の基本的考え方

①文化芸術振興条例の基本理念を踏まえた計画の策定

条例の基本理念や第1期計画の目標を踏まえ、それらに対する第1期計画中の成果や課題の抽出・検討を行ったうえで、第2期計画の方向性を定めます。

②第1期計画策定後の国及び市の動きの反映

国の動き

「文化芸術の振興に関する基本的な方針」第3次基本方針が示され、文化芸術の振興を社会全体で支え、日本の「文化芸術立国」を実現することとしている。

川崎市の動き

新たな文化施設のオープンや市民の自主的な活動の拡大など、施策や文化活動を取り巻く環境の新たな展開があり、ソフト面でも様々なまちづくりを見据えた文化芸術の取組が盛り上がっている。一方で、「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき」をめざし、より効果的・効率的な事業の展開が求められている。

③文化芸術振興会議と市民意見の反映

川崎市文化芸術振興会議

- ・計画案への意見、助言
- ・情報提供など

文化関係団体・市民など

- ・市民アンケートの実施
- ・文化関係団体への説明
- ・パブリックコメントの実施

成果・課題検証と方向性の検討

(庁内検討体制)
文化芸術振興計画改定検討委員会
・成果・課題の検証、方向性の検討、計画案の検討など

3 計画期間

第2期文化芸術振興計画の計画対象期間

平成26年4月から概ね10年間とします。

○中長期の目標を設定し、一貫した目標のもとでの取組の必要性

期間中は、文化芸術振興施策上の大きな状況の変化や市の総合計画との整合性に留意し、一定期間を目処に成果の検証や見直しを行う。

4 第2期計画の計画体系イメージ

基本方針

- 1 文化芸術の振興による創造的で持続的なまちづくりの推進
- 2 市民の主体的な文化芸術活動の尊重
- 3 関係機関等との連携による文化芸術の振興と地域づくり
- 4 文化芸術活動を通じた都市・地域間の交流の推進

基本方針は、条例の理念を表しているもの。

基本目標

- 1 ○○○
- 2 ●●●
- 3 △△△

第1期計画の取組の成果と課題を踏まえ設定

取り組む環境整備について記載

重点施策1	重点施策2	重点施策3
環境整備1 ●●●●●●		
環境整備2 ●●●●●●		
環境整備3 ●●●●●●		

基本目標を踏まえ、必要な環境整備を定める。重点的に取り組む目標の設定について、検討する。

5 今後のスケジュール

平成25年7月～8月 市民アンケート

市民アンケート実施「文化芸術について」

平成25年8月～9月 文化団体等への説明

「第2期計画策定について」により、文化団体に説明
・川崎市総合文化団体連絡会
・川崎商工会議所 等
・その他要望に応じて実施

文化芸術振興会議、文化芸術振興計画改定検討委員会での検討

意見を踏まえて計画案作成

第2期計画案について

平成25年12月～平成26年1月 パブリックコメント

第2期計画案により、市民説明会を実施

パブリックコメント・市民説明会の意見を踏まえて計画策定

平成26年3月 計画確定

6 第1期計画の成果・課題検証と第2期計画の方向性

第1期計画の取組結果について、その成果と課題を検証しました。3つの基本目標のそれぞれの分野で、文化芸術資源を活用し地域の特性を活かす取組、また、各文化関係団体や企業・大学などと連携した活動や情報共有、人材育成について大きな成果を上げることができたと考えております。一方でそれぞれの分野で取り組むべき課題が明らかになったことから、これらの成果と課題を踏まえ、第2期計画の方向性を定めていきます。

第1期計画の主な取組成果と課題

文化芸術の振興を中心とした魅力あるまちづくりをさらに発展させるために、3つの基本目標を設定しました。この目標を実現するために、文化的施策の視点を設け、この視点に基づいた取組を行うことにより、文化芸術の振興を図ってきました。

基本目標1

文化創造

目指すべき姿

文化芸術が様々な分野に浸透し、魅力ある創造性豊かなまち

基本目標2

情報の共有

目指すべき姿

多様な文化芸術の情報を共有し、活気にあふれたまち

基本目標3

人材育成

目指すべき姿

多才な人材が育ち、文化芸術活動を担う人、支える人が集うまち

その他

成果

- ①都市イメージの向上
音楽のまちづくりや映像のまちづくりの推進などによる市の魅力及び都市イメージ向上
- ②地域の賑わいの創出
毎日映画コンクール表彰式を活用した地域イベントの実施や、アジア交流音楽祭とアジアフェスタの同時開催など
- ③企業・文化団体との連携の推進
モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさきや、アルテリッカルしんゆり、KAWASAKILしんゆり映画祭など企業・文化団体と連携した事業実施
- ④市民主体の文化活動の充実
市民主体の文化活動や文化団体等による被災地への文化支援等

- ⑤魅力の発信
・映画やテレビドラマ等の映像制作のロケ地誘致を通じた本市の魅力発信
・生田緑地3館の連携強化など、地域の文化資源が連携し、地域全体の魅力を発信していく取組
・SNSの活用や他都市との広報連携など幅広い地域・世代に伝えるための新たな発信手段についての取組

- ⑥情報共有とネットワークの構築
「音楽のまち・かわさき」推進協議会、「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの活動を通じた、多様な主体によるネットワークの構築

- ⑦学生や若手芸術家の活躍の場の創出
・海外交流都市との市内学生の文化交流
・新世代の芸術家による企画展の開催

- ⑧教育現場での取組の推進
・ジュニア音楽リーダー育成事業や子どもの音楽の祭典等、同世代と練習・鑑賞し、技術を磨く機会の提供
教育現場における映像制作活動を支援し、映像に関する人材育成と映像を通じた教育への取組

- ⑨ボランティア育成と活躍の機会の提供
・アート講座などによる文化ボランティア育成への取組
・アルテリッカルしんゆり、モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき、KAWASAKILしんゆり映画祭など各イベントへの市民ボランティア参加機会の拡充
・各種ワークショップ実施による参加者の文化芸術活動への参加機会の拡大・技能向上

- ⑩基金の新たな活用
企業連携による寄付金を活用した取組の開始

- ⑪アウトリーチ活動の開始
・ミュージア川崎シンフォニーホール公演を他ホールで行うアウトリーチ活動など、文化施設の役割拡大へ向けた取組

課題

- A 市民の主体的・自主的な活動への支援のあり方
- B 文化団体や市民、伝統芸能等の保存活動などと行政の役割分担など
- C 様々な施策分野で文化的視点を取り入れることによる互いの特色を生かした互恵関係の構築
- D 地域の文化資源を踏まえた文化芸術振興施策の方向性

- E 地域資源を活用した文化芸術のまちづくりの核となっている「音楽のまち・かわさき」推進協議会、「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの役割・連携方法等の検証

- F 音楽等の芸術家や住民ボランティアのネットワーク化の推進

- G 文化活動を行いたい市民と、地域の文化活動ができる場所や活動団体等の情報を結びつけるマッチング機能の充実

- H 人材育成事業の参加者が、事業の担い手となっていくような好循環の仕組みづくり

- I 市民ボランティアの一層の充実と参加機会の拡大

- J 計画の対象となる範囲がわかりづらい

- K 計画の体系が複雑であり、理解されにくい

- L 実行計画は計画の具体的な目標等が見えづらい

- M より効果的・効率的な事業の展開

- N 劇場法指針を踏まえた施設ごとの目的・役割に沿ったあり方

- O 文化施設を朽ちたと長寿化への対応

第2期計画の方向性

【市民・文化関係団体・企業との連携の推進】

市民・文化関係団体・企業など様々な主体との連携が推進されました。今後ともこの動きをより活発にしていくために、それぞれの主体の役割分担や、地域資源の効果的な活用について、第2期計画の中で整理したうえで取り組んでいきます。

【様々な施策での文化的視点を踏まえた取組】

第1期計画では、教育や産業・経済等各分野での文化的視点を踏まえた取組が進展しましたが、その他の施策分野でも文化的視点を取り入れ、様々な施策分野において総合的に文化芸術を活かした事業の取組を推進します。

【文化芸術資源および地域特性を踏まえた文化芸術振興の推進】
ミュージア川崎やアートセンターをはじめとした川崎市の文化施設、また、様々な地域で進む市民主体又はそれぞれの主体が連携した文化芸術を活かしたまちづくりの取組を一層推進します。

【継続的な人材育成の推進及び活躍の場の提供】

様々な行っている人材育成・支援事業と計画との関連性を整理するとともに、これら文化芸術活動の担い手が文化芸術活動に参加し、協働して支えていくための環境づくりを推進していきます。

【計画の対象範囲について】

計画が対象とする文化芸術の範囲について検討を行います。

【計画体系の見直し】

計画の体系を理解しやすい体系に組み替えることで、計画への理解度を高め、円滑な推進に結びつけます。

【主要施策の設定】

第2期計画を効果的に推進するために、主要な施策を定めて重点的に取り組めます。

【文化関係施設について】

文化施設について、文化施設の役割を整理するとともに、「文化施設老朽化と長寿化への対応」などを踏まえ、川崎市及び地域の文化活動の拠点としての文化施設の計画的な維持管理を図ります。

■「川崎市文化芸術振興計画の第2期計画策定」についてのアンケート

川崎市 市民・子ども局市民文化室 庶務・企画担当 大坪・石床(いしとこ)

電話 044-200-2279

Fax 044-200-3248

川崎市では、「川崎市文化芸術振興計画」の改定作業を行っています。
計画策定作業にあたり、日頃文化活動に取り組んでいる皆様から以下のような点について、御意見をいただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

問1 これまで文化活動に取り組んでこられた中で、市民の生活や社会にどのような成果があったと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 人の心を癒し豊かにする | 2. 人への思いやりを育み、コミュニケーションを良くする |
| 3. 地域への愛着が高まる | 5. 都市のイメージが向上する |
| 4. 都市の国際化が図れる | 7. 経済の活性化に寄与する |
| 6. 産業や福祉など様々な分野に波及し相乗効果が生まれる | |
| 8. その他(具体的に) | |

問2 普段文化活動をしていて、課題に思うことはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 会員の確保、後継者不足 | 2. 人材育成、レベルの向上 |
| 3. 組織体制の強化 | 4. 活動資金の確保 |
| 5. 活動・成果発表の場所の確保 | 6. 情報発信や情報入手の手段が少ない |
| 7. 活動ボランティアスタッフの不足 | 8. 市民や他団体との交流の機会の不足 |
| 9. その他(具体的に) | |

問3 あなたは、あなたの団体がこれから文化活動をしていくにあたって、力を入れていきたいことは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 後継者の発掘、育成 | 2. 市民への活動成果の発表 |
| 3. 団体の内容や活動状況の情報発信 | 4. 他の文化団体との連携 |
| 5. 行政や企業との連携 | 6. 活動ボランティアスタッフの確保 |
| 7. その他(具体的に) | |

第2期計画の方向性

①【市民・文化関係団体・企業との連携の推進】

市民・文化関係団体・企業など様々な主体との連携が推進されました。今後ともこの動きをより活発にしていくために、それぞれの主体の役割分担や、地域資源の効果的な活用について、第2期計画の中で整理したうえで取り組んでいきます。

②【文化芸術資源および地域特性を踏まえた文化芸術振興の推進】

ミューザ川崎やアートセンターをはじめとした川崎市の文化施設、また、様々な地域で進む市民主体又はそれぞれの主体が連携した文化芸術を活かしたまちづくりの取組を一層推進します。

③【継続的な人材育成の推進及び活躍の場の提供】

様々に行っている人材育成・支援事業と計画との関連性を整理するとともに、これから文化芸術活動の担い手が文化芸術活動に参加し、協働して支えていくための環境づくりを推進していきます。

問4 第2期計画の方向性について、上記のように考えています。この2期計画の方向性を考えるうえで、あなたが必要性を感じる方向性や第2期計画で検討してほしいことがあれば教えてください。

【自由記載】

その他

○上記に関わらず、今回の説明やそれ以外でも御意見があれば伺います。

御協力ありがとうございました。